



問題

増加する旅行者による定番観光地の混雑・集中

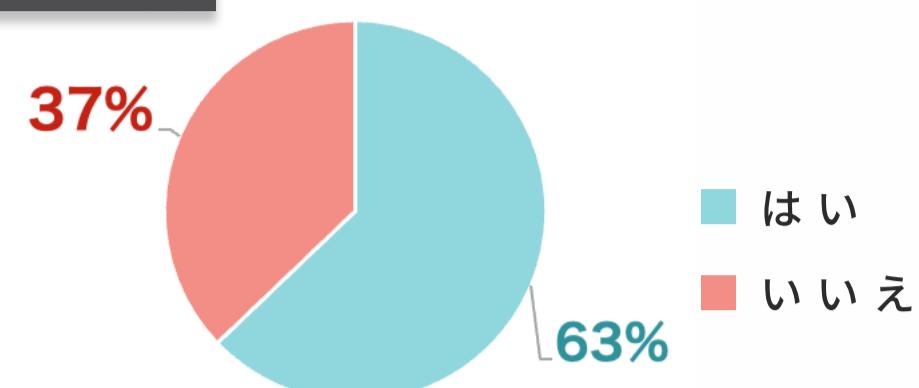
目的

観光客を様々な観光地に分散させ、混雑緩和を図る



市民と旅行者の満足度の向上

現状調査



観光地付近で混雑を感じた人の割合

回答者の約6割が混雑を感じたことがある

問題の明確化

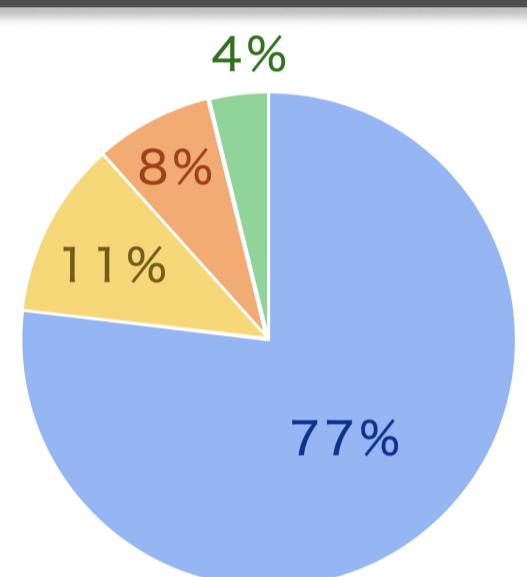


図2 金沢市と聞いて思い浮かべる観光地

■ 金沢と聞いて連想する観光地は、偏っている

■ 観光協会が運営する「金沢旅物語」には

金沢市の隅々までの観光地の情報がある

「金沢観光デジタルマップ」「行きたいリスト」「金沢観光快適度マップ」など

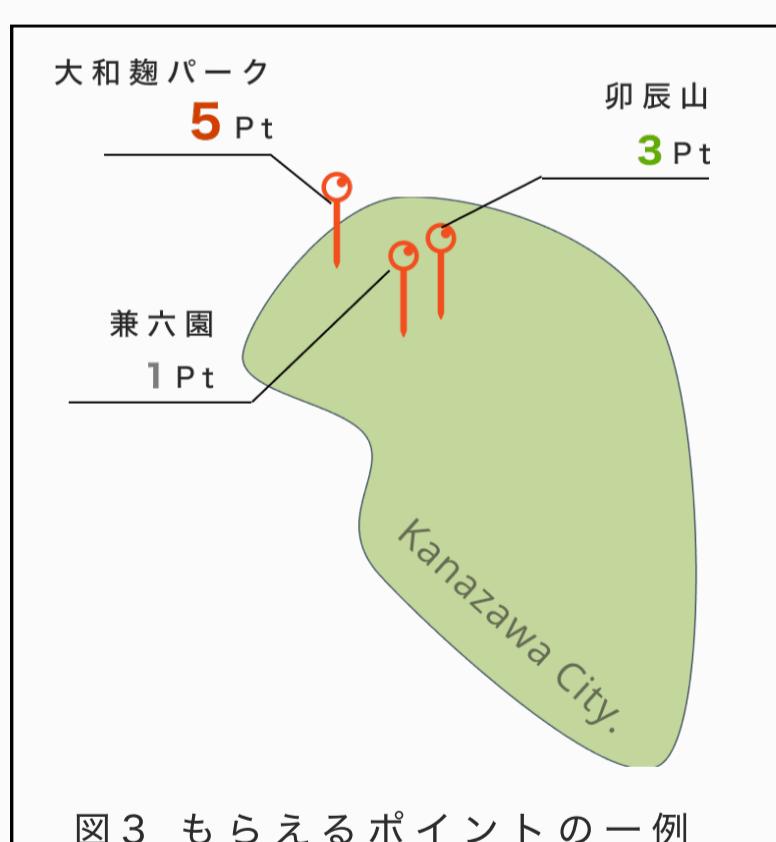
→ 人の少ない観光地への情報は多いが、使ってくれる人がいない

人の少ない観光地に観光客を赴かせる動機が必要

解決策

金沢市内の様々な場所を巡る、デジタルスタンプラリーを開催

長所と特徴



ポイント制

- ① 観光客は自由に観光地を選べる
- ② 観光地にポイントが割り振られている
- ③ 天候、混雑状況によりポイントが変動
- ④ ポイントが多いほど特典が豪華に



完全デジタル

- ① スマホ一つで気軽に参加可能
- ② ペーパーレスで環境にやさしい
- ③ 既存サービスへのスムーズな誘導
- ④ 2次元コードを読む操作のみ

押してみまっし！
魅力が推せる場所、金沢

図5 タイトル案



図6 ロゴ案

短所と対策

- ① システム構築にコストがかかる
→ 「金沢旅物語」の一部として開発してもらう、工大内のプロジェクトに依頼する
- ② 情報発信の方法を考える必要性がある
→ 観光案内所のサイネージ、HPに掲載してもらう
- ③ 混雑度でポイントを変更することが困難
→ 観光快適度マップの予測混雑度を利用

分散までの流れ

- ① 人の少ない観光地のポイントを高くなる
- ② ポイントを獲得しに観光客が訪れる
- ③ 金沢市全体の観光地に観光客が訪れてくる

観光客が分散